

# 三重県史

資料編

近代 2  
政治行政 II

# 目次

口 絵	表紙題字 知事 田川亮三
序	
凡 例	
総合解説	1

## 第一章 日露戦争後の県政

### 第一節 行政監督の強化

一 郡市町村監督	
1 郡役所処務通則の制定	60
2 町村財政監督強化の内訓	61
3 郡市町村監督内規の制定	63

4 内務大臣へ郡市町村の監督につき報告案	64
二 町村吏員等の表彰	
5 市町村・同吏員・民間人等の表彰	67
6 県公報に「地方行政」欄を新設	69
三 戊申詔書の励行	
7 戊申詔書奉戴式	69

### 第二節 町村財政の再建

一 市町村税	
8 市町村税滞納処分成績表	72
9 村会議員選挙特例の廃止	73
二 郡町村基本財産	
10 部落有財産整理方法の内訓	74
11 三重県における公有林野統一整理の状況	75
12 三重県公有林野整理の趣旨	82
13 市町村基本財産の急増	88
14 町村基本財産管理方法につき県農会の建議	89

三 貯蓄奨励

15 郵便貯蓄奨励の内訓 ..... 90

第三節 戦後経営と県会

一 四日市港修築

16 四日市港修築に関する県会の建議 ..... 94

17 四日市港築港反対趣意書 ..... 96

18 明治四三〜四七年度四日市港修築土木予算決定 ..... 100

19 明治四三〜五一年度四日市港修築更正予算 ..... 105

二 熊野街道改修

20 明治四〇〜五九年度熊野街道改修予算 ..... 107

21 熊野街道改修工期短縮の建議 ..... 108

三 地租軽減問題

22 地租軽減要求の三重県農民大会 ..... 109

23 地租軽減の県会建議と知事の不認可 ..... 112

四 県政界の動向

24 三重県政同志会の創立趣旨および会則 ..... 114

25 三重県政同志会の発会式 ..... 115

第四節 治安・軍事

一 第五一連隊設置

26 連隊誘致の県会決議 ..... 118

27 第五一連隊誘致運動の回顧 ..... 119

二 在郷軍人会

28 帝国在郷軍人会の設立趣旨 ..... 122

29 在郷軍人会津支部規約 ..... 123

第二章 護憲運動と第一次大戦

下の県政

第一節 地方自治の整備

一 行政機構・事務の整理

1 行政整理等につき知事訓示 ..... 126

2 県庁判任官の改正定員につき内牒 ..... 130

3 本県の行政整理につき調査 ..... 131

4 判任官俸給令改正につき意見書 ..... 131

5 県吏員等の休職規程 ..... 132

6 時局に対する知事訓示 ..... 134

7 臨時戸口調査規程の制定 ..... 135

二 地方財政の窮迫

8 市町村起債の留意事項 ..... 136

9 内務省所管の予算配賦 ..... 136

10 阿山郡玉滝村の戸数割等級調査方法 ..... 140

11 戸数割激増につき論評 ..... 141

12 県税地租割徴収方法の統一 ..... 142

13 大正四年度県歳入歳出の決算 ..... 142

14 志摩郡における県税徴収額 ..... 148

15 郡費分賦の標準につき意見 ..... 150

三 県会の紛糾

16 県会、警察権の運用につき質問 ..... 151

17 県会の党派的軋轢につき論評 ..... 153

18 県会の延会 ..... 156

19 県会の休会宣告 ..... 156

20 県会、新土木事業を否決 ..... 158

21 県会の形勢 ..... 161

22 県会の成績 ..... 162

23 県会における土木事業問題 ..... 163

24 県会議員選挙の当選決定 ..... 165

25 県会議長・参事会員等の選出 ..... 166

26 県会の議事速記録印刷につき建議 ..... 167

四 地方自治の停滞

27 町村における事務整理 ..... 168

28 市町村行政に関する権限委任の取扱い ..... 172

29 郡市町村その他事務報告例の改正 ..... 175

30 度会郡鶴倉村の事務報告 ..... 177

31 志摩郡磯部村の区会条例 ..... 180

32 阿山郡玉滝村の村治機構 ..... 181

33 津市役所の事務簡捷 ..... 184

34 松阪町是調査会の実地調査 ..... 184

35 浚渫問題につき津市是調査会の抗議 ..... 185

36 大正三年度の市町村基本財産 ..... 186

## 第二節 護憲運動と政治意識

## 一 憲政擁護運動

37	津市における憲政擁護演説会	189
38	宇治山田市における憲政擁護大会	192
39	松阪町における憲政擁護演説会	193
40	県民大会実行委員会の決議	193
二 減廃税運動		
41	悪税廃止につき県民大会	195
42	三重県農民倶楽部よりの建議	200
三 県内の政治活動		
43	政友会三重県支部の動向	201
44	政友会東海十一州会の決議	201
45	三重県一市八郡有志大会の決議	206
46	県会議員の政党性と選挙への苦言	207

## 第三節 治安行政と派兵

47	一 警察機構の整備	210
48	巡査教習所規則の改正	210
49	警部補および巡査の配置	212
50	消防組規則取扱心得の改正	216
二 裁判所		
51	裁判の区画	217
52	民事訴訟の件数	220
三 第一次世界大戦とシベリア出兵		
53	歩兵第五一連隊第一〇中隊の朝鮮派遣	221
54	欧州の大乱につき知事諭告	221
55	歩兵第五一連隊第七中隊の青島守備	222
56	第三師団の動員下令と対応	223
57	第三師団動員令伝達の系統	226
58	出征軍人に対する慰問袋	227
59	歩兵第五一連隊の初陣	228
60	連隊の奮戦に対する感謝状	229
61	出征軍人の通信	230

62	出征第三〇旅団長よりの通信	231
----	---------------	-----

## 四 戦時気運昂揚と救護活動

63	津連隊区在郷軍人会の概況	233
64	津連隊区将校団の教育計画	236
65	軍事救護法施行細則の制定	238
66	一志郡軍人家族救護に関する内規	239

## 第三章 大正デモクラシー期の

## 県政

## 第一節 地方自治の拡充

## 一 県行政組織の整備と自治観念の普及

(1) 行政組織		
1	地方行政事務の整理刷新につき指示	242
2	社会課の新設	243
3	県政の根本問題につき知事訓示	244
4	農務課・商工水産課の設置	248

(2) 国勢調査		
5	国勢調査員による調査	248
6	国勢調査の実施	250
7	八ツ山村における国勢調査の状況	251
8	国勢調査地方事務取扱規程細則の制定	254
(3) 土木関係		
9	道路取締令施行細則の制定	256
10	道路取締令施行細則の施行場所	259
11	熊野川の治水につき意見書	259
(4) 県印刷所		
12	三重県印刷所費特別会計の設置	260
13	三重県印刷所の設置	261
(5) 自治観念の普及		
14	地方制度および地方税制に関する講習会	261
二 地方財政の膨張		
15	町村費予算につき指示	262
16	市町村費の負担と費途	264
17	不公平と評される戸数割	266

18	宇治山田市の県税戸数割賦課規程	267
19	大正一一年度県予算の膨張	268
20	市町村財政の緊縮	269
21	戸数割規則につき意見書	273
22	三重県税制調査会規程の制定	274
23	県税制調査につき商工会の建議	275
24	大正五〜一四年度の県財政	279

三 民力涵養運動の推進

25	戦後民力涵養に関する県の大綱	282
26	名賀郡在郷軍人会の民力涵養に関する決議	286
27	県内民力涵養事業の成績一斑	287
28	民力涵養運動の推進	288

四 市町村自治の強化

(1) 町村長会の活動

29	教員俸給国庫支弁請願運動の状況	289
30	教員俸給国庫支弁の請願	291
31	教員俸給国庫支弁請願運動への呼びかけ	294
32	三重県町村長会の創立	295

33	三重県町村長会会則と第一回協議事項	297
34	全国町村長会創立委員会の概要	299
35	三重県町村長会の県諮問に対する答申	302

(2) 都市計画と隣村合併

36	四日市市、都市計画法適用を要望	307
37	宇治山田市に都市計画課新設の動き	308
38	桑名町の市制要望と隣村合併の動き	308
39	松阪町の隣村合併運動	309
40	津市の都市計画	310
41	津市都市計画の経過概要	311

(3) 市町村政の推進

42	町村役場処務規程準則の改正	316
43	宇治山田市役所処務規程の改正	321
44	松阪町区長および区長代理者組織規程の改正	323
45	名張町地域区分規程の制定	324
46	松阪町勢調査会の規程	324
47	支庁および市役所巡視規程の制定	326
48	町村巡視規程の改正	327

五 郡制・郡役所の廃止

49	郡制廃止に伴う県の方針	328
50	郡制廃止への批判	328
51	桑名郡の郡制廃止に伴う処理方法	329
52	桑名郡の郡有財産および营造物の処分予定	330
53	桑名郡立高等女学校移管事項につき県の指導	331
54	南北牟婁両郡の現状維持要望	332
55	郡役所廃止後の善後策	333
56	中間行政機関設置につき木本町長の陳情	334
57	三重県南牟婁支庁の設置	335

第二節 政党勢力の台頭

一 県会における政党勢力

58	衆議院議員選挙の当選者	338
59	県参事会の代決につき建議	339
60	県会役員の独占問題	340
61	県会議員の選挙区と議員数	341
62	護憲派県議による三重公正会の結成	342

二 県政界の動向

63	県会の党争につき批判	343
64	県参事会員の増員	345

第三節 普通選挙意識の昂揚

一 選挙制度の改正

72	県下の政党状況と憲政会	360
71	憲政会三重県支部の規約	358
70	憲政会三重県支部の発会式	355
69	宇治山田市における政友会演説会	354
68	政友会三重県支部大会および中央大会	350
67	政友本党三重県支部の発会式	349
66	三重県の立憲青年会創立総会	346
65	政友会三重県支部の協議会	346
73	選挙制度改正等につき県の具申	366
74	津市会最後の二級選挙	375
75	市町村会における級別選挙撤廃	377

二 普通選挙運動

76	普通選挙法案通過につき論説	378
77	普選につき尾崎弴堂の政談演説会	380
78	普選法公布日を迎えての論説	382
79	理想選挙同盟会の結成	385

#### 第四節 治安体制強化と軍事

##### 一 警察体制の強化

80	自治的警防施設に関する県の要望	387
81	警部補および巡査の配置	387
82	県警察部に刑事課新設	389
83	警察署の管轄区域	390

##### 二 裁判所

84	行政裁判法改正につき論説	395
----	--------------	-----

##### 三 明野飛行学校の創設

85	明野に陸軍航空学校の射撃班開設	398
86	陸軍航空学校明野分校の設置	399
87	明野陸軍飛行学校の編成	399
88	明野陸軍飛行学校の海面射撃	403

89	明野陸軍飛行学校の修業式	405
----	--------------	-----

#### 四 歩兵第三三連隊の転営

90	歩兵第三三連隊を津に移転	407
91	津連隊廃止につき連隊長訓示	409
92	桑名連隊区將校団の解団式	411
93	歩兵第三三連隊の転営歓迎	413
94	歩兵第三三連隊転営につき論説	414
95	第一六師団の教育召集	415

### 第四章 昭和初年の県政

#### 第一節 普通選挙体制

##### 一 普選の準備および選挙取締り

1	伊賀国民教育会の講演会	418
2	公正同志会への入会案内および会則	419
3	普通選挙の心得	424
4	村会議員選挙につき心得	426

##### 二 政党政派の再編成

###### (1) 民政党系

5	民政党三重県支部の準備委員名簿	429
6	民政党三重県支部の発会式	430
7	鈴鹿民政倶楽部の会則	433
8	鈴鹿民政倶楽部の会則修正・宣言・決議	434

###### (2) 政友会系

9	政友会三重県支部大会	436
10	県議選につき三重県農民倶楽部の挨拶	437
11	三重県農政倶楽部の結成	438

##### 三 普通選挙の実施

###### (1) 県会議員選挙

12	一志郡内候補者調整の失敗	440
13	三重県会議員選挙の諸統計	440

###### (2) 衆議院議員選挙

14	普選第一回来議院議員選挙の景況	444
15	普選前後の政党勢力の変遷	446

16	県警察部に特高警察課設置	450
----	--------------	-----

#### 四 県会議事堂の改築

17	県会議事堂改築の予算説明	451
18	県会議事堂改築調査委員会の報告	453
19	県会議事堂の改築図面	456

#### 第二節 不況下の県政

##### 一 郡制廃止後の行財政整理

###### (1) 郡農会廃止問題

20	一志郡町村長会研究部の規程	459
21	一志郡自治協会の規則	459
22	一志郡農会等四団体廃止要求の声明	461
23	一志郡川合村村長の再声明書	462
24	一志郡川合村有志の郡農会廃止の請願書	463
25	郡農会存続につき県農会の陳情書	464
26	第八回県町村長会の宣言・決議	466
27	第一一回県町村長会の宣言・要望・申合事項	467

28	昭和三年度県予算につき知事説明	468	39	県農会の米価下落対策	503
29	昭和五年度県予算につき知事説明	470	40	県税制整理に対する意見	504
30	臨時財政調査委員の設置	471	41	米価政策等につき陳情	507
31	昭和六年度県予算につき知事説明	473	42	硫安および藪価格につき陳情	509
	三 公私経済緊縮運動		43	山村救済の陳情書	510
32	県市町村長会議における知事訓示	475	44	農業者の租税負担軽減につき請願	513
33	本県の公私経済緊縮運動	479		二 商工会議所	
34	一志郡中部一・二か村の村会議員打合せ事項	486	45	木曾三川架橋四日市期成同盟会の設立	517
35	県町村長会、行財政と税制整理につき意見書	487	46	三大川架橋促進運動の経過	518
	四 教化総動員運動		47	営業収益税等の課税標準につき建議	519
36	本県の教化総動員運動	490		第五章 満州事変と県政	
37	三重県教化団体連合会の発会式	496		第一節 満州事変下の県政	
	第三節 各種団体の活動			一 満州事変勃発	
	一 農 会			1 県町村長会臨時総会の宣言・決議・協議事項	522
38	大正二四年度町村農会長大会決議事項の実施経過	500	2	阿山郡時局研究会の規約	523

第三節 地方政治の官僚統制化

一 地方制度改革問題

14	市町村長会における知事訓示	544
15	県町村長会総会の宣言・決議等	547
16	市町村長会における知事訓示	551
17	超党派の県政調査会決定事項	556

二 選挙粛正運動

18	選挙粛正論告第一号	559
19	本県の選挙粛正運動	561
20	第二次選挙粛正運動の宣伝文	566

三 教化常会の組織

21	教化常会設置奨励の通牒	568
----	-------------	-----

第四節 農村の運動

一 更生運動

22	神風義塾の設立	571
23	第一回農村更生講習会	574

二 国際的孤立

3	国際連盟脱退に際しての知事論告	524
---	-----------------	-----

第二節 時局匡救事業

一 町村長会の運動

4	阿山郡町村長会の応急対策決議	526
5	度会郡の農民負債徳政につき請願書	528
6	時局匡救事業実施につき希望事項	529

二 時局匡救予算

7	町村長代表者会議における知事の時局匡救予算説明	530
8	時局匡救予算案の知事説明	532
9	昭和九年度予算案の知事説明	533

三 時局匡救事業継続要求

10	民政党県支部の匡救事業実態調査	535
11	時局匡救事業継続につき陳情書	538
12	県町村長会総会の宣言・決議等	540
13	地方財政調整交付金制度実現促進等の陳情運動	541

24 三重県更生協会の趣意書・会則……………577

25 農村更生講習会修了生大会の決議事項……………579

26 三重県農山漁家の負債調査書……………583

二 農政倶楽部の再興

27 三重県農政倶楽部の復興……………588

28 三重県農政倶楽部の創立趣意書……………589

三 農道会

29 三重県農道会の結成……………590

30 米穀・産蘭両法制定要求の農民大会……………597

31 農道会の衆議院議員選挙対策……………602

第五節 都市の政治運動

一 商工会議所

32 市街地地租増租緩和の陳情書……………607

33 営業収益税附加税率引下げの陳情……………609

二 市長等

34 国道一号改修の陳情運動……………609

第六節 治安・軍事

一 県国防協会

35 三重県国防協会の創立準備……………612

36 三重県国防協会の設立趣意書・会則……………613

二 在郷軍人会

37 帝国在郷軍人会令の公布……………615

38 在郷軍人会市町村別会員数等一覧表……………616

39 在郷軍人会の選挙運動制限につき通牒……………623

三 特高警察

40 特別高等警察課の事務分担表……………625

第六章 日中戦争下の県政

第一節 日中戦争の勃発と県政の動向

一 戦争勃発への対応

1 蘆溝橋事件と県在郷軍人会の動向……………630

第三節 県民の動員と組織化

一 国民精神総動員運動

15 国民精神総動員三重県地方実行委員会の発足……………672

16 国民精神総動員に関する論告……………673

17 国民精神総動員三重県実施計画……………675

18 国民精神総動員運動の実施概要……………685

19 政党の国民精神総動員運動に対する警戒……………705

20 国民精神総動員企画部の設置……………706

21 国民精神総動員運動の実態……………708

22 国民精神総動員三重県本部の発足……………710

23 国民精神総動員運動改組の通牒……………711

24 常会設置につき県の指導……………712

25 常会指導者の養成……………715

第二節 戦時体制の確立

一 行政

2 北支事変に関する論告……………631

3 北支事変に関し市町村長会での知事訓示……………632

4 支那事変に関し天機奉伺の件県会決議……………637

5 南京陥落の祝電につき県会決議……………637

6 事変対策の予算編成……………639

二 防空と治安

7 事変長期化と総動員体制の整備……………641

8 事変下の県末端行政の実状……………643

9 総動員体制と市町村長会指示事項……………645

10 総力戦体制の強化と市町村長会指示事項……………652

11 高度国防国家体制の確立と市町村長会指示事項……………658

12 近代戦と防空の意義……………660

13 三重県永年防空計画……………662

14 防空訓練三重県統監の講評……………668

二 新体制運動

(1) 大政翼賛会三重県支部……………718

26 政友会三重県支部の解散……………718



27	民政党三重県支部の解散	720
28	翼賛県会と精動方式の批判	721
29	翼賛会三重県支部発足と第一回県協力会議	730
30	第二回三重県協力会議	741
	(2) 三重県翼賛壮年団の結成	
31	翼賛壮年団結成の方針	753
32	翼賛壮年団からの不純分子の排除	757

6	昭和一九年度予算編成	784
	二 戦時財政の展開	
7	皇軍に対する県会の感謝決議	785
8	行政と翼賛会の一体化方策	787
9	翼賛県会の責務	792
10	一億取闘の実状と県会	794
	三 翼賛県会	

## 第七章 太平洋戦争下の県政

### 第一節 総力戦体制下の県政

	一 戦時行政の展開	
1	対米英宣戦の大詔渙発につき知事諭告	760
2	大東亜戦争開始と末端行政	761
3	町村決戦態勢確立実行方策	770
4	地方事務所設置	776
5	征戦完遂の市町村長会議	779

	一 翼賛選挙の準備	
11	県下の翼賛選挙の先例	806
12	翼賛選挙貫徹運動三重県基本要綱	807
13	翼賛選挙貫徹運動三重県実施方策	814
14	翼賛選挙貫徹運動三重県実施計画	819
15	翼賛政治体制協議会三重県支部	826
16	翼賛選挙貫徹につき一斉常会開催	828
	二 翼賛選挙の展開	
17	翼賛団体部落会等の選挙運動	830

18	三重県論告と投票当日の便宜供与	834
	三 選挙干渉と総選挙の結果	
19	非時局的候補の一掃	837
20	川崎克の推薦状・挨拶状	838
21	尾崎行雄の不敬事件	841
22	翼賛選挙の総決算	854

31	困難克服県民総進軍態勢確立要綱	885
32	翼賛会推進員制度の廃止	888
	二 翼賛会県下各支部の活動	
33	昭和一七年度翼賛会多気郡支部事業計画	889
34	翼賛会と官製国民運動の限界	890
35	飯南・多気郡町村常会主任者協議会	891
36	翼賛会第五回多気郡協力会議	895
37	国民運動連絡会議の設置	899
38	翼賛会第六回多気郡協力会議	901
	三 三重県翼賛壮年団の活動	
39	農村責任協力体制確立運動実施要綱	910
40	三重県翼壯単位団長の内定状況調	913
41	昭和一七年度三重県翼賛壮年団事業計画	915
42	昭和一七年度多気郡佐奈村翼賛壮年団事業計画	917
43	翼賛壮年団の整備強化	919
44	翼賛会の機能刷新と壮年団の運営	921
45	三重県翼賛壮年団役職員の組織化	926
46	翼賛壮年団運営に関する町村団団長会議	928

### 四 地方選挙

23	市町村会議員の翼賛選挙	865
24	翼賛壮年団関係市町村会議員の指導	866
25	県会議員等の任期延長措置	868

90	昭和一七年度多気郡佐奈村翼賛壮年団事業計画	917
91	翼賛壮年団の整備強化	919
92	翼賛会の機能刷新と壮年団の運営	921
93	三重県翼賛壮年団役職員の組織化	926
94	翼賛報道網確立基本要綱	931

### 第三節 大政翼賛会

#### 一 大政翼賛会三重県支部の活動

26	翼賛会県支部の役員等更新方針	870
27	昭和一七年度翼賛会三重県支部事業計画	873
28	翼賛会第六回臨時三重県協力会議	876
29	翼賛会第四回三重県協力会議議題の処理状況	878
30	翼賛報道網確立基本要綱	881

95	昭和一七年度三重県翼賛壮年団事業計画	915
96	翼賛壮年団の整備強化	919
97	翼賛会の機能刷新と壮年団の運営	921
98	三重県翼賛壮年団役職員の組織化	926
99	翼賛報道網確立基本要綱	931

47 市区町村団の分団・班設置要領……………930

48 翼賛会の機能刷新と世話役等の委嘱……………935

第四節 防空と空襲

一 県下の防空対策

49 県下の初空襲……………940

50 宇治山田・松阪被爆と空襲対策……………941

51 疎開帰農者受け入れ対策要綱……………942

52 緊要人員確保と疎開の抑制……………944

53 農業および農村防空対策……………946

54 四日市空襲と防空緊急常会……………952

二 空襲

55 四日市爆撃の米軍報告書……………957

56 四日市海軍燃料廠第一次爆撃の米軍報告書……………972

57 四日市海軍燃料廠第二次爆撃の米軍報告書……………981

58 桑名爆撃の米軍報告書……………994

59 津・桑名爆撃の米軍報告書……………1003

60 津・宇治山田爆撃の米軍報告書……………1012

第五節 決戦体制と敗戦

一 戦局悪化と県政

61 サイパン失陥と翼賛会の動向……………1024

62 決戦県会の状況……………1026

63 本土決戦態勢確立の建議書……………1034

二 国民義勇隊と本土決戦の準備

64 国民義勇隊結成と県翼壯の対応……………1036

65 国民義勇隊の組織要綱……………1037

66 国民義勇隊結成式の告示……………1042

67 国民義勇隊発足につき諭告……………1046

68 国民義勇隊の趣旨の周知徹底……………1047

69 学徒隊の結成……………1049

70 国民義勇隊女子隊員の心得……………1050

三 戦争体制の崩壊

71 一億殉国の備え……………1051

72 一志郡町村国民義勇隊副隊長会議……………1054

付 表

一 県行政官一覧……………1060

(1) 長 官(知事)……………1060

(2) 補 佐 官(内務部長・総務部長・内政部長)……………1062

(3) 警察部長……………1064

二 議員一覧……………1066

(1) 三重県関係 貴族院議員……………1066

(2) 三重県選出 衆議院議員……………1067

(3) 三重県会議員……………1069

(4) 三重県会議長・副議長……………1071

三 町村合併等……………1072

四 三重県組織変遷図……………1078

付 録

三重県地図・三重県地誌(昭和一七年)

戦災地図(桑名市・四日市市・鈴鹿市・津市・松阪市・宇治山田市)

次

資料提供者および協力者……………1082

あとがき……………1083

口絵目次

- |   |                   |    |                    |
|---|-------------------|----|--------------------|
| 1 | 旧県会議事堂と空から見た県庁周辺  | 9  | 農会の政治運動            |
| 2 | 絵はがきに描かれた伊勢大橋     | 10 | 満州に出征する兵士たち        |
| 3 | 尾崎行雄の普選演説         | 11 | 県会議事堂前に掲げられた戦時国債看板 |
| 4 | 尾崎行雄の普選手拭         | 12 | 本土爆撃米軍報告書          |
| 5 | 郡制廃止に伴う名賀郡役所送別式   | 13 | 桑名市の戦災状況           |
| 6 | 南牟婁地方事務所（旧郡役所・支庁） | 14 | 旧大門百貨店屋上から見た津市の戦災  |
| 7 | 鶯方村の第一回国勢調査員の記念写真 | 15 | B 29の撤いた空襲予告のビラ    |
| 8 | 選挙心得ポスター          | 16 | 戦時期の役場文書類          |